

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	牛久市安全・安心な都市公園の整備・保全計画															
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	牛久市															
計画の目標	都市公園が不足しているJR常磐線牛久駅西側の、既成市街地に近接する貴重な湿地帯を活用して親水公園を整備することで、公園の不足を補うのみならず、都市内に貴重な親水空間を形成する。 また、市民の健康増進を図る公園のスポーツ施設において、老朽化が進み利用者数にも減少傾向がみられるため、施設を改築・更新し、安全・安心な施設にすることで、利用者数の減少に歯止めをかけると共に、利用者数の拡大を図る。 その他の都市公園施設においても、老朽化が進み、改善が必要な時期にきている施設について、危険性への対処等の優先順位を決め、順次処置していくことで、事故の発生を防ぎ、安全の確保を計画的に実施する。															
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		640	A	612	B	0	C	28	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		4.37	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	新たな都市公園を整備し、牛久市民100人あたりの都市公園面積を360㎡／100人（H27当初）から389㎡／100人（H31末）に増加			
	牛久市における市民100人あたりの都市公園面積 （市民100人あたり公園面積）＝（都市公園面積）／（都市計画区域人口）	360㎡／100人	㎡／100人	389㎡／100人
2	牛久運動公園各有料施設利用者数を171,500人／年（H27当初）から175,900人／年（H31末）に増加			
	牛久運動公園各有料施設の利用者数を測定する	171500人／年	173700人／年	175900人／年

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
人口 85,419人（H27.3.31時点） 89,530人（H32.3.31推定）														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	都市公園等事業（田宮西 近隣公園）	園路、広場等 4.1ha	牛久市	■	■	■			66		-
	A12-002	公園	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	都市公園等事業（牛久運 動公園）	野球場改修、駐車場整備、用 地取得等 15.0ha	牛久市	■	■	■	■	■	546		策定済
											小計						612		
											合計						612		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	牛久運動公園駐車場整備 事業	用地取得、設計	牛久市	■	■				28		策定済
		公園と一緒に整備することにより、利用者の利便性が向上利用者数の拡大が図られる。																	
											小計						28		
											合計						28		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
牛久市建設部都市計画課において事後評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	市ホームページにおいて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	新たな公園を整備することで、市民一人当たりの公園面積が増加するとともに、地域住民の憩いの場所の創出につながった。感染症等により有料施設の利用者増加にはつながらなかったが、施設の改築・更新することで、利用者の安全性向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

今後も適切な公園の面積及び配置について検討を進めるとともに、既存施設の適切な維持管理に努めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	牛久市における市民100人あたりの都市公園面積の増加		
	最 終 目標値	389㎡ / 100人	
	最 終 実績値	412㎡ / 100人	
2	牛久運動公園各有料施設の利用者数の増加		
	最 終 目標値	175900人 / 年	プールの利用期間の短縮や感染症による体育館の利用制限のため。
	最 終 実績値	126000人 / 年	